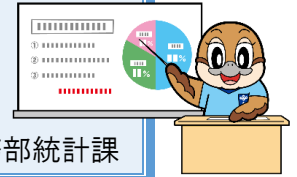


コロナ禍で変わった食生活 -その2-

大阪府総務部統計課



©2014 大阪府もずやん

今回も前回に引き続き、[家計調査\(二人以上の世帯\)品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング](#)から、コロナ前(平成29～令和元年平均)とコロナ禍(令和2～4年平均)を比較して、私たちの食生活の変化を見ていきます。

2020年の新語・流行語の1つであった「オンライン○○」ですが、皆さんはこの○○には何を思い浮かべますか？オンライン会議、オンライン授業、オンライン診療…など、いろいろありますが、オンライン飲み会が浮かんだ方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

今回は、お酒に関する項目から御紹介します。



1. 飲酒代 (飲酒代及びこれに伴う料理代。飲酒を目的とした諸会費も含む)

コロナ前 (平成29年～令和元年平均)

順位	都市	金額
	全国	18,785
1	高知市	37,379
2	東京都区部	28,701
3	川崎市	28,133
4	札幌市	26,189
5	松江市	26,021
	:	
30	大阪市	17,333
	:	
49	堺市	13,157

単位：円/年

コロナ禍 (令和2年～令和4年平均)

順位	都市	金額
	全国	7,757
1	東京都区部	15,734
2	高知市	14,211
3	川崎市	11,122
4	静岡市	10,745
5	相模原市	10,541
	:	
23	大阪市	7,384
	:	
46	堺市	5,177

単位：円/年

まずは、外食における飲酒代です。予想通り！と思うかもしれませんが、飲酒代は全都市で減少しました。全国平均金額は18,785円から7,757円と、11,028円(△58.7%)の減少です。大阪市でも17,333円から7,384円と、9,949円(△57.4%)減少、堺市で13,157円から5,177円と、7,980円(△60.7%)減少しました。

コロナ前と比較して、外でお酒を飲む機会が大きく減ったことがわかります。

コロナ前は全国平均の約2倍でダントツ1位の高知市ですが、37,379円から14,211円と23,168円(△62.0%)減少と4割以下になりました。

高知では「返杯」と呼ばれる、伝統的な交流を深めるお酒の飲み方があるそうです。返杯とは、飲みの席で酒を注がれたら飲み干した後、その杯を相手に返して注ぎ返す、というお酒の飲ませ合いの風習です。お酒を飲むのが好きな高知の人もコロナ禍での飲み会は控えていたようですね。(それでも2位ですが…)

外食での飲酒代は減少していますが、家での飲酒量は増えたのでしょうか。



続いて、酒屋やスーパーの他、自動販売機・駅・車内売り等で購入したものが含まれる「酒類」の中から、ビールと発泡酒・ビール風アルコール飲料の年間の購入数量がどう変化したか、見ていきます。

2.ビール

コロナ前（平成29年～令和元年平均）

順位	都市	数量
	全国	19.73
1	札幌市	27.32
2	盛岡市	25.12
3	秋田市	24.83
4	青森市	24.46
5	長野市	23.71
⋮		
13	堺市	21.69
⋮		
36	大阪市	18.51
⋮		
38	高知市	18.26

単位：リットル/年

コロナ禍（令和2年～令和4年平均）

順位	都市	数量
	全国	20.87
1	札幌市	27.41
2	青森市	26.70
3	福島市	24.86
4	広島市	24.54
5	東京都区部	24.43
⋮		
11	大阪市	23.36
⋮		
24	堺市	19.99
⋮		
45	高知市	17.45

単位：リットル/年

まずは、酒類の中で一番支出金額が多いビール（※11,430円）についてです。

コロナ前と比較して、全国購入数量は19.73リットルから20.87リットルと1.14リットル増加、大阪市は18.51リットルから23.36リットルと、4.85リットル増加し、順位が36位から11位となっています。堺市は21.69リットルから19.99リットルと、1.7リットル減少しました。



350ml缶だと、全国で約3本、大阪で約14本増えたこととなります。



3. 発泡酒・ビール風アルコール飲料

コロナ前（平成29年～令和元年平均）

順位	都市	数量
	全国	27.19
1	高知市	53.18
2	新潟市	44.35
3	札幌市	39.90
4	大阪市	37.03
5	富山市	36.10
⋮		
21	堺市	28.59

単位：リットル/年

コロナ禍（令和2年～令和4年平均）

順位	都市	数量
	全国	27.89
1	高知市	50.68
2	青森市	41.03
3	大阪市	39.96
4	鳥取市	38.81
5	山口市	38.24
⋮		
28	堺市	27.41

単位：リットル/年

ビールに次いで支出金額の高い、発泡酒・ビール風アルコール飲料（※9,521円）ですが、コスパが良くビールに近い味が楽しめるとして、人気の高い「第3のビール」が含まれています。

全国購入数量は27.19リットルから27.89リットルと0.7リットル増加しています。



大阪市は37.03リットルから39.96リットルと2.93リットル増加、全都市3位の購入数量となりました。堺市はビールも減少していましたが、こちらも28.59リットルから27.41リットルと1.18リットル減少しています。

ビールの購入数量は少ない高知市ですが、こちらは、53.18リットルから50.68リットルと、2.5リットル減少したものの、2位と大きく差をつけて変わらず1位。ビールの約2.9倍も消費しています。高知の人は、ビールより比較的気軽に楽しめる発泡酒やビール風アルコール飲料を購入しているようです。

※全国平均金額



最後に、酒類の全国平均額を比較します。酒類全体の
 全国平均金額は、40,676 円から 45,294 円と、4,618 円増加
 しています。そのうちビールは 10,914 円から 11,430 円と、
 516 円増加、発泡酒・ビール風アルコール飲料は 8,821 円
 から 9,521 円と 700 円増加しました。

	コロナ前 (平成29年～ 令和元年平均)	コロナ禍 (令和2年～ 令和4年平均)
酒類(全体の合計)	40,676	45,294
ビール	10,914	11,430
発泡酒・ ビール風アルコール飲料	8,821	9,521

単位：円/年

家にいる時間が増えオンライン飲み会という言葉が流行ったものの、外食の飲酒代が半分以下に
 大きく減少した割には、お酒の購入金額は 5～10%程度の増加でした。

ちなみに、農林水産省が調査した食育に関する意識調査(令和3年3月)によると、新型コロナウイルス感染症の拡大による食生活の変化として、オンラインを利用して家族や友人と食事を共にすることが増えた人の割合は、全世代で 2.8%、若い世代(20～39 歳)でも 7.9%となっています。

オンライン飲み会を楽しんだ人は少なかったのかもしれませんが。

コロナによる行動制限も緩和されてきている中での新年度、お酒を飲みながら楽しい
 時間を過ごすことができそうですね。ただ、飲みすぎにはくれぐれも気を付けましょう。



【令和2～4年平均 酒類のランキングを見ていると…】

清酒			
	金額(円)		数量(ml)
1	秋田市 9,204	1	新潟市 9,174
2	新潟市 8,794	2	秋田市 9,140
3	仙台市 8,761	3	仙台市 8,884
4	富山市 8,130	4	盛岡市 8,635
5	福島市 8,067	5	金沢市 8,605

焼酎			
	金額(円)		数量(ml)
1	宮崎市 12,476	1	宮崎市 17,617
2	鹿児島市 10,832	2	大分市 12,971
3	北九州市 9,588	3	鹿児島市 12,842
4	大分市 8,913	4	北九州市 12,301
5	熊本市 8,281	5	札幌市 10,897

清酒の上位は秋田市、新潟市、仙台市…と米どころが多く並んで
 います。(近畿で有名な伏見や灘がある京都市、神戸市は上位では
 ないですね。)

対して、焼酎の上位は宮崎市、鹿児島市、北九州市、大分市…と
 九州地方の都市でした。

清酒は東北・北陸地方の米どころ、焼酎は九州地方でよく購入されているという地域性が見えてきませんか？

トーカー

【Let's統活！】統計課からのお知らせ

統計データ利活用に役立つ情報や実施予定の統計調査のご案内です。

「データおおさか 2023」を発行しました

人口や主要駅の乗車客数、物価の動き、家計の様子など、
 大阪の姿が数字とグラフでわかる、A5・カラー・32 ページの冊子です。

HP にはプリントアウトすれば、冊子が製本できる冊子作成用データを掲載。

仕事で、ご家庭で、ぜひお役立てください！



(画像をクリックするとページに飛ぶことができます)

☒ お問い合わせはこちら

大阪府統計課へのお問合せ | 大阪府行政オンラインシステム (task-asg.net)
 大阪府総務部統計課分析・利活用促進グループ ☎06-6210-9196